

せいしょう 青翔

第249号

◆青年部ニュース◆ 発行 北大阪商工会議所 青年部 広報委員会

<http://kitaosaka-yeg.jp/>

青

翔

令和3年度 青年部会長インタビュー

今月の青翔では、第40代北大阪商工会議所青年部会長に就任した加藤秀継君にスローガンに込めた想いと本年度への意気込みについて伺いました。



第40代会長 加藤 秀継

広 報：本年度のスローガンからお話をお聞きます。「当事者たれ！～自らのYEGを自ら愉しくデザインしよう～」このスローガンに込められた想いをお聞かせいただけますか。

加藤会長：北大阪YEGには仕事の繋がりや、プライベートの繋がりなどで誘われて入った方も多いと思います。純粋に何かを求めて自分の意思で門を叩いたという人は少ないかもしれません。このように、そもそもの入会の動機は人それぞれでも、継続して今年度も在籍しているということは何かを求めているはずです。だから、YEG活動を自分ごとと捉えて、傍観者にならず積極的に関わってほしいです。

もちろん、380人もいれば、みんながみんな賛成してくれる事業ばかりではないだろうし、違う意見もあって然りです。ただそれを、参加しないという表現の仕方をするのではなく、参加した上で「自分はこう思う」「あれについてはこういう意見だ」という感じでどんどんYEG活動に関わり、議論して欲しいですし、声を上げて欲しいという想いです。

全国会長研修会に北大阪YEGの次年度会長として参加した時にも、「メンバー数は380人です」というと、他単会の会長さんに驚嘆されます。しかし、かたや30人や50人というメンバー数で、参加率ほぼ100%という単会もあります。実際、数は

力と考えておりますのでメンバー数は必要ですが、どれだけ参加率を伸ばしていけるかが、今年、令和3年度の課題だと思っています。組織を活性化させ、場があたたまった状態で令和4年度にバトンを繋げたい、スローガンにはそういう想いを込めました。

広 報：「楽しく」ではなく「愉しく」とされたのはなぜですか。

加藤会長：「愉しい」とは、自分自身の気持ちや想いから生まれる楽しい状態のことで、自身の行動や意識、気持ち、考え次第でどのようにも変化できるのです。それぞれの立場で多くのメンバーや事業に関わり、その繋がりを愉しんでほしいと思います。

広 報：昨年令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が世界を覆った1年となり、さまざまな行動や活動に制限が課せられました。その状況下、北大阪YEGでも総会や理事会、例会などさまざまな活動を新たに模索された一年だったと思います。第一回目の緊急事態宣言が発令された状況下でまず取り組まれたことは、飲食店中心の情報発信でした。加藤会長自らも多くのメンバーのお店を廻られ情報発信をされていましたが、どのような想いで取り組まれていましたか。

加藤会長：飲食店さんが夜の営業ができない状況で、普段していないお昼のお弁当の販売などをされていました。そこで、南條直前会長から前年度の広報委員会に、こんな時だから是非Facebookを活用して、メンバーに少しでも助けになるような発信をしてあげて欲しいと、お願いがありました。広報委員会では、飲食店メンバーのリストにもとづいて丁寧に取材をし、お店の情報やお弁当の写真をFacebookに投稿してくれました。誰もが初めて体験する緊急事態宣言下において、北大阪YEGの事業として発信をしてきている広報委員会を応援したい気持ちもあり、困っている飲食店メンバーを応援したい気持ちもあり、お店を訪

ねてお弁当を購入し、私も投稿させていただきました。おかげさまで多くのメンバーと交流ができ、応援するつもりが逆に元気をもらえました。

広報：令和2年度筆頭副会長として過ごされ、一番得られたこととお聞かせください。

加藤会長：南條直前会長の下で私が得たものは、安易に止まらない、とにかくやるということに貪欲な会長の姿勢を見せてもらったことです。あそこまで突き進めるとするのはすごいですね。でも勢いだけではなく、すごく勉強されていて、それが私にも一番勉強になりました。だからついていけました。そして、令和3年度YEGメンバーが活動しやすい環境をどう整えればいいのかを学ばせていただきました。



広 報：北大阪YEGでは、令和4年度に40周年と全国会長研修会という大きな事業の開催を控えています。今年度は大きな事業を成功に導くためのバトンを繋ぐ重要な準備の一年になると言われていますが、どのようにお考えですか。

加藤会長：令和4年度の40周年と全国会長研修会がゴールではないのですが、はっきりと大きな事業が見えているという年度も珍しいです。そういう意味では、0は0にしかならないのですが、何か一つでも行動を起こせば、会の経験値として繋がると分かってもらえました。ここのために歩みは止めないのだと南條直前会長も言われていま

したし、後に控えている大きな事業に対して、会の経験値の一つでも二つでも少しでも多く積んでいくのだ、そのための設えをするのだという、その覚悟がもらえました。

準備準備と言うと、受け取り方によっては、令和3年度を飛び越えて令和4年度のためにやるのかとか、あるいは人によっては「いや、俺ら別に令和4年度にいないから」という風にとられかねないと思うので、言い方に迷うところはあります。でも、たまたまそのようにゴールが見えていて、飛び越えるようなイメージになりますが、諸先輩方が一つひとつ築きあげてこられた結果の40周年ですから、目の前の一年をしっかり活動することで次の一年に繋がる、そういう意味ではどの年も当年の活動をしながらそれが結果的に、次年度の準備となり積み重ねてきた40年だと思います。

そして、みんなが口にするスケールメリット、380人という数だけではなく、メンバーの活性化・参加率をアップさせて、今以上に活気ある組織にした状態で、令和4年度に繋げて渡したいという想いがあります。渡したいという言い方をすると、私が次年度の会長に渡すというような捉え方をされますが、その時その時、そこにいるメンバーに繋いでいくものですから、その時在籍するメンバーが「愉しめている」状態で引き継ぎたいと思います。

広 報：加藤会長、ありがとうございました。

加藤会長と共に令和3年度北大阪YEGが始まりました。北大阪YEGメンバーは是非、当事者として共に愉しみましょう！

今回は、北大阪商工会議所 久門会頭と加藤会長との対談を予定しております。どうぞお楽しみに。

北大阪商工会議所 青年部

会員募集

商工会議所青年部 [YEG] は
次代の地域経済を担う若手
経営者の集まりです。

2021年度スローガン

当事者たれ！～自らのYEGを自ら愉しくデザインしよう～

2021年度会長 加藤 秀継

〒573-1159
枚方市車塚1丁目1番1号
輝きプラザ「きらら」6F
枚方市立地域活性化支援センター内
TEL: 072-843-5163
FAX: 072-841-0173
北大阪商工会議所青年部事務局
<http://kitaosaka-yeg.jp/>

ご興味のある方は
こちらへ

